

日本環境安全事業株式会社の PCB廃棄物処理

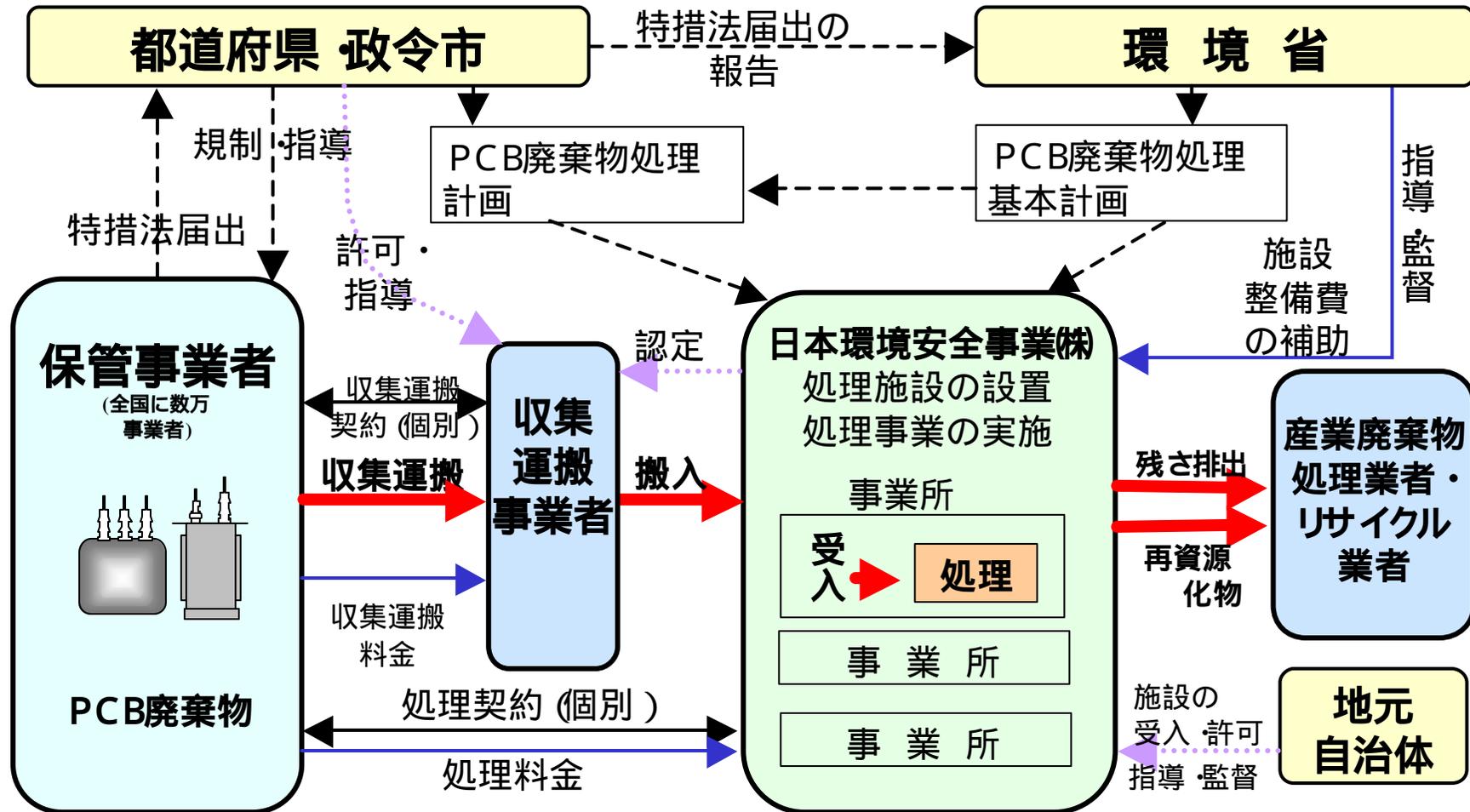
日本環境安全事業株式会社は、平成16年4月1日に100%政府出資により新しく設立され、環境事業団のPCB廃棄物処理事業を承継します。

日本環境安全事業株式会社の役割

日本環境安全事業株式会社は、緊急の課題であるPCB廃棄物処理を行う国の唯一の機関（特殊会社）です。

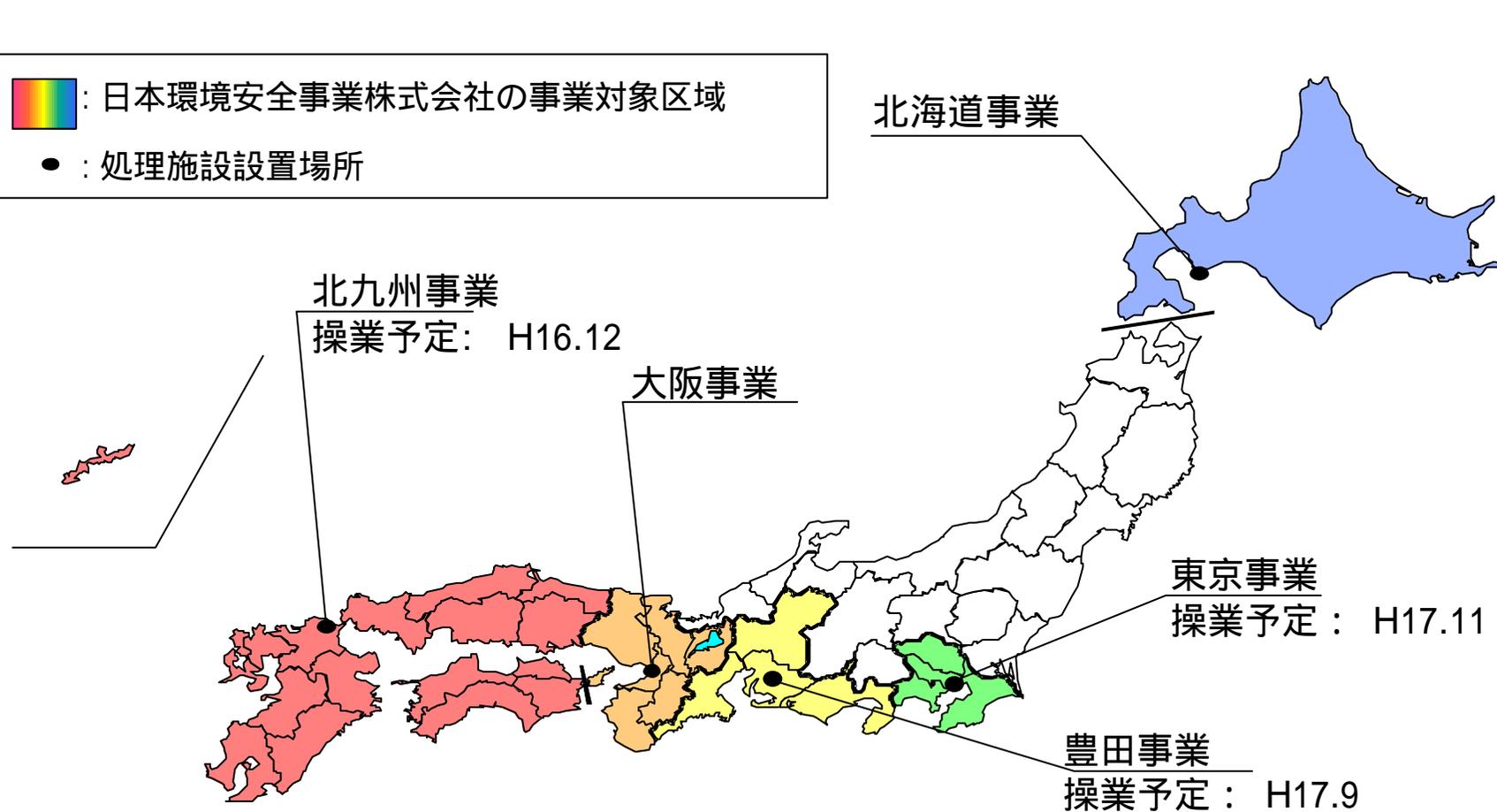
国の指導のもと、全国数力所において、PCB廃棄物の広域的な処理施設を設置し、処理を行います。施設整備にあたっては、国の補助金を導入します。また、中小企業者の保管する高圧トランス・コンデンサ（電力用の大型のもの）等の処理費用の一部を「PCB廃棄物処理基金」から充当し、中小企業者の処理費用の負担軽減を図る予定です。

PCB廃棄物処理事業の仕組



処理施設の設置場所

 : 日本環境安全事業株式会社の事業対象区域
● : 処理施設設置場所



2004年 3月現在

各事業のPCB処理

分解方式	処理方法	処理対象物
北九州事業 脱塩素化分解法 (金属ナトリウム分散体法)	PCBの分子を構成している塩素と金属ナトリウムを反応させて、PCBの塩素を水素等に置き換える方法	高圧トランス・コンデンサ等並びに同程度の大型電機機器等及びPCB油類
豊田事業 脱塩素化分解法 (金属ナトリウム分散体法)	PCBの分子を構成している塩素と金属ナトリウムを反応させて、PCBの塩素を水素等に置き換える方法	高圧トランス・コンデンサ等並びに同程度の大型電機機器等及びPCB油類
東京事業 水熱酸化分解法	超臨界状態に近い水中で酸素とNaOHを加え、PCBを二酸化炭素、塩化ナトリウム、水に分解する方法	高圧トランス・コンデンサ等並びに同程度の大型電機機器等及びPCB油類 小型機器 (安定器等)
大阪事業 脱塩素化分解法 (触媒水素化脱塩素化法)	パラジウムカーボンを触媒として、PCBの塩素を水素等に置き換える方法	高圧トランス・コンデンサ等並びに同程度の大型電機機器等及びPCB油類

日本環境安全事業株式会社の概要

環境事業団のPCB廃棄物処理事業は、平成16年4月に新しく設立される100%政府出資の「日本環境安全事業株式会社」に承継されます。同社は、従前どおり国の監督と支援の下に、PCB廃棄物処理事業を推進します。

商 号：日本環境安全事業株式会社 (Japan Environment Safety Corporation (JESCO))

根 拠 法：日本環境安全事業株式会社法 (平成15年5月16日法律第44号)

会 社 形 態：上記の法に基づき、旧環境事業団のPCB廃棄物処理事業を主な業務として承継する形で、国の全額出資により設立される「特殊会社」

目的及び事業：日本環境安全事業株式会社は、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の処理に係る事業及び環境の保全に関する情報又は技術的知識を提供する事業並びにこれらに附帯する事業を経営する」(日本環境安全事業株式会社法第1条)

設 立 予 定：平成16年4月1日

所 在 地：本 社：東京都港区芝1-7-17 住友不動産芝ビル3号館 4階

事業所：北海道室蘭市、愛知県豊田市、大阪府大阪市、福岡県北九州市
(東京事業所は、本社内に設置)